

# 健診部 だ よ り

2025年春号

今回は私共健診部が日々行っている出張（巡回）健診についてお話させていただきます。

普段、私達健診部がお邪魔させて頂き、健診を行っている先は主に一般の企業様、中学校や高等学校、大学や各種専門学校の生徒さん、そして教職員の方々あるいは、保育園や幼稚園にお勤めの

職員様の健康診断をお任せ頂いております。また介護施設等に入居されている方の健診も承りますし、

クリニック、病院等の医療機関にお勤めの職員様の健診も行わせて頂いております。

業種や職種、対象となる受診者様により健診内容も多少変わってきますが、

今回はごく一般的な巡回健診について、簡単にご紹介させて頂きたいと思います。

『健診部の  
お仕事をご紹介します』



1

まずはじめに健康診断と言えば・・・必要不可欠な存在『胸部レントゲン車』です。

私ども健診部では、何か特別な理由等が無い限り、基本的に胸部レントゲンの

撮影からスタートさせて頂いております。その理由ですが、たとえば胃部レントゲン

撮影も同時に行われる健診の場合、間違っ先バリウムを飲んでしまうと、

後から撮影が出来なくなってしまうからです。そんなミスはまずあり得ないのですが、

たいていの健診では、胸部レントゲン車と胃部レントゲン車が並んでいることが多い為、そういった間違いを防ぐためにも胸部レント

ゲン撮影からご案内させて頂いております。他にもレントゲン撮影から始める理由があるのですが、それは②でご説明いたします。

2

胸部レントゲン撮影が終わると、技師から右の画像のようなビニール製の小袋

に入った綿棒をお渡しいたします。こちらは尿検査用の綿棒です。この綿棒の

先端に尿をかけて十分に湿らせたら、ジップロック式の小袋に戻して健診会場

に受診票等の書類とともにお持ち頂きます。ちなみに画像の綿棒と小袋と一

緒に写っている色付きの細長い紙が『ウロペーパー』と呼ばれる試験紙です。

健診によって検査項目は違いますが、このウロペーパーに尿を付着させること

によって糖やたんぱく、尿潜血等の判定が瞬時に可能です。この尿検査の方式のメリットは、なんとと言っても尿採取が簡単な

こと、そして検査が極めてスピーディーということです。ご要望があれば、従来からある紙コップや容器での尿採取も可能ですが、

現在はほとんどの健診で尿綿棒式が採用されています。紙コップや容器と比べて、圧倒的にゴミの量を減少させることが出来、

環境問題だけでなく衛生面においても綿棒式の方が優れているというのが、広く採用される理由になっていると言えるでしょう。





3 健診によっては会場の一番最初に受付を出す事もありますが、一般的な健診の場合、まずはじめに身長 & 体重の計測から始まり、そして、同時にここが受付となることが多いです。また、採取済みの尿綿棒もここで提出して頂きます、尿検査の結果はこの場ですぐに出ますので、受診者の方をほとんどお待たせすることなく次の検査に進むことができます。なお、便潜血等の検査もある方は、こちらに検便をご提出いただき、お預かりすることになりますので、お忘れなく・・・。

←靴をぬいで体重計からお願いします。

↓次は視力と聴力検査になります。

### 視力検査



↑コンタクトレンズ着用の方はお申し出下さい。

視力 & 聴力検査が終わったら、次は血圧を測ります。

画像の様に椅子の通り横向きにおかけください。

リラックスして深呼吸3回



血圧の計測が終わったら、次はいよいよ採血です。対象となる方はがんばりましょう。緊張しなくても大丈夫ですよ。

### 4

### 聴力検査



↑ヘッドフォンを耳にあて、音が聞こえる方をお答えください。

### 5

背中をつけて  
もたれてください





6

35歳を除く40歳未満の方は省略することも出来る項目ですが、年齢に関係なく全員同一項目にしていっちゃう事業者さんがほとんどですね。中には注射が苦手という方もいらっしゃると思いますが、ワクチン接種等筋肉注射と違って、採血の場合はそれほど痛みはありません。また、当健診部のスタッフ（ナース）さんはベテラン揃いですので、とても上手です。あっという間に終わりますので、ご安心を・・・。



←採血後はこんな感じで止血ベルトをお巻きます。受診者様自身で押さえておく必要はありません。5～10分ほど経過したら、回収いたします。健診会場内に回収用のカゴを設置しております。

こちらに返却してください。→



7

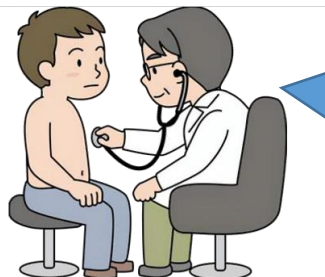
健診会場のレイアウトやお部屋のご都合によりませんが、多くの場合、採血が終わると、次は心電図になります。



健診会場の状況によっては、次の内科診察と順番が入り替わる場合があります。いずれにしても心電図は痛くもかゆくもありませんので、ご安心ください。なお、採血の際にあらかじめ横になった状態で行うことをご希望の方は、事前にお申し出頂ければ、心電図の計測時に同時に採血を行うことも可能です。また、会場次第ですが、横になって採血される方専用のベッドをご用意することも可能です。注射が苦手な方や貧血気味の方でもご安心ください。

8

先ほどもご説明いたしましたが、健診会場のレイアウト等によっては内科診察と心電図の順番が逆になる場合もありますが、基本的に健康診断は内科診察で終了という形がほとんどです。



体調など気になることがあれば、担当医師にご相談ください。また、服用しているお薬などもございましたら、お伝えください。

以上、簡単ではありますが、一般的な巡回健診の流れについてご説明させて頂きましたが、その他有害物質に係わる業務に従事しておられる方や、有機溶剤業務に常時従事されている方のために特殊健康診断も行っております。また、粉じん作業に従事されている方のための「じん肺健康診断」や「電離放射線健康診断」等も承っておりますので、そういった特殊な業務に係わる事業者様は、健診部までお問い合わせください。また、学生様向けに耳鼻科及び眼科健診も行っております。中高生及び各種専門学校様への出張健診を承っております。なお、毎年4月～6月は学校健診が集中し、大変混み合う時期となっております。特に4月～5月中旬頃までは、健診の予約が大変取り難くなっております。場合によってはご希望の日程でお受け出来ない可能性もありますので、この時期に出張健診をお考えの事業者様は、お早めにご相談ください。

というわけで、今回は私共健診部が日々行っている一般的な「巡回出張健診」についてご紹介させていただきました。

我が国で進展している高齢化を背景に、皆さま一人ひとりの健康寿命を延伸するためにも、あるいは企業活動を支えている働く人の心身の健康確保のためにも、ぜひ健康診断をお役に立てて頂きたいと思っております。

新横浜リハビリテーション病院 健診部 荒谷 圭祐

